

## 平成25年度「市長と語りあう会」について

### 1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
4月18日（木）	匹見下地区振興センター	19:00～20:30	18	5	23

#### ○市側出席者

市長、副市長、経営企画部長、秘書広報室長

### 2 会の概要

#### ○開会（秘書広報室長）

- ・ 会の趣旨説明
- ・ 副市長紹介(副市長自己紹介とあいさつ)
- ・ 出席者紹介

#### ○あいさつと市政運営の説明（山本市長）

##### (1) はじめに

###### ① 澄川小学校跡地利用について

平成25年度当初予算措置していないことの説明。

- ・ 当初経費、後年度負担を考慮すると予算措置は難しかったこと。
- ・ 今後の対策は、市全体で検討していくこと。
- ・ 澄川小学校廃校に協力して頂いた地元の好意に応えるためにも出来るだけ早く結論を出したいこと。

##### (2) 平成25年度施政方針から基本指針について

###### ① 人口拡大への挑戦

- ・ 市民の幸福のバロメータとして人口を捉えていること。
- ・ 人口拡大は難しい目標だが市を挙げて取り組むこと。
- ・ 人口シミュレーションの説明。

###### ② 財源の効率的配分

- ・ 施策の選択、中止、縮小する手法については理解を求めることが必要であること。
- ・ 施策同士の相乗効果が上げられるよう努めること。

###### ③ ネットワークの構築と活用による産業の活性化

- ・ 各施策及び庁内組織の連携を築くこと。
- ・ 市内部だけでなく、商工会議所等各種団体、他の自治体、県、国との連携に努めること。

##### (3) 具体的な課題

###### ① 学校給食センター整備事業について

- ・ 学校給食調理場及び関連施設の状況説明。
- ・ 学校給食調理場を分散化することの意義。
- ・ 当初想定していた匹見地域内への学校給食調理場整備を断念した理由。
- ・ 市議会での議決が得られていないことの状況。

###### ② 高津川ラインガルテン等整備事業について

- ・ 当初案の採算性について。
- ・ 当初候補地周辺の水質調査の結果が飲料用に不適切であったこと。
- ・ 当初予定地の変更もあり得ること。

###### ③ 地域医療体制の充実について

- ・ 澄川診療所の充実に努めること。
- ・ 益田赤十字病院における産科医の体制の現状。
- ・ 脳神経外科の状況及び益田赤十字病院新病院においても脳神経外科の設置予定がない背景。
- ・ 緊急事態の際に、脳神経外科等設置されている病院までの迅速な搬送ができるよう関連施設の整備に努めること。

- ④ 防災対策と危機管理体制について
  - ・ 津波ハザードマップについて。
  - ・ 国、県、市道沿い及び避難場所の標高表示について。
  - ・ PM2.5観測機が益田市にも設置されていることについて。
- ⑤ 空港の利用促進と道路整備について
  - ・ 萩・石見空港東京便2便化と大阪便の定期再開にむけて要望していること。
  - ・ 岩国錦帯橋空港との連携等により萩・石見空港の利用者が増えていること。
- ⑥ 都市間交流の推進について
  - ・ 高槻市。昭和46年に姉妹都市締結されたこと。その縁で、高槻市、益田市、若佐町と防災協定を締結する予定であること。
  - ・ 川崎市。これまでスポーツ関連での交流を進めてきており、4月19日には川崎市長が来益されること。
  - ・ 豊中市。伊丹空港所在自治体として空港活用に積極的で、益田翔陽高校甲子園出場の際にも支援を申し出て頂いたこと。

(2) 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は、別紙のとおり。

- ① 澄川小学校跡地利用について。
- ② 長沢トンネルの残土について。
- ③ 澄川小学校跡地利用について。
- ④ 携帯電話の不感地区について。
- ⑤ 県道美都澄川線の改良について。
- ⑥ 澄川小学校跡地利用について。
- ⑦ 澄川小学校跡地利用について。
- ⑧ 長沢トンネルの残土について。
- ⑨ 国道488号線について。
- ⑩ 益田市の財政状況について。
- ⑪ 広益道(広島・益田間道路)について。

○ 閉 会 （秘書広報室長）

○ あいさつ （山本市長）



## 平成25年度「市長と語りあう会」

〔会場 匹見下地区振興センター〕 開催日時：平成25年4月18日（木）19:00～20:30

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 澄川小学校跡地利用について。 澄川小学校は平成18年3月31日に廃校になった。 これまで、跡地利用については「匹見下ふるさとをおこす会」から市に対して要望書を提出していた。その中で、施設については、その会が指定管理を受けて管理する案を示していたが、それについては難しいと判断しあきらめている。 しかし、廃校後7年も経っており、前向きな姿勢で協議に臨んで欲しい。グラウンドゴルフ場の整備等から始めて少しずつ取組んで頂く方法でも良いのでそのように願う。 このことは、人口拡大にも繋がると思うし、里帰りした際の宿泊施設としても活用できる。</p>	<p>① 澄川小学校跡地利用については、どうやら都会の若い世代が入っているような仕掛けを作るかが大切だと思う。例えば、登校拒否の子ども達の癒しの場、回復の場として活用方法を念頭に置くべきと考える。（例えば山村留学施設としての利用。） しかし、これにも財政投入が必要。魅力ある教育、田舎の良さを活用した教育をしていきたい。それ以外のアイデアも関係者と考えていきたい。</p>
<p>② 長沢トンネルの残土について。 国道の整備が進み、グリーンライン90が実現してきたが、長沢トンネルの残土の問題がある。残土の処理後には、更地にしてヘリポートとして活用して欲しい。</p>	<p>② 長沢2号トンネルは、先日貫通式が行われた。残土については、シートを被せたまま放置しておくことが好ましいとは思っていない。県土木部が担当しており、早期解決を要望していく。ヘリポートについても、検討する。</p>
<p>③ 澄川小学校跡地利用について。 市に対して提出した要望書について、当初案の「匹見下ふるさとをおこす会が指定管理を受けて管理すること」が難しいのなら別の提案ができないかという指示が前支所長から出された。 それを受けて、地元では今の公民館を澄川小学校跡地に移転することも検討しており、そのことについて地元としては了解している。</p>	<p>③ （状況説明のため回答なし。）</p>
<p>④ 携帯電話の不感地区について。 石谷集落は、現在8戸で、全員が高齢者である。 携帯電話が入らない。緊急時の連絡が出来ない。対策を願う。また、中継局設置への市の支援はできないのか。</p>	<p>④ 市が行った地域情報化の事業により携帯電話不感地区が減少したもののまだそういう地区があることは承知している。 携帯電話の会社が中継局を作る判断をどうかにかかっているが、市として要望はしていく。 中継局を作るにあたっては、設置費用、設置後の利用料金収入等で判断すると思う。現時点では設置後の利用料金収入の見込みが把握できないので、市としての支援は判断できない。</p>

要 望 事 項 等	回 答
<p>⑤ 県道美都澄川線の改良について。          県道美都澄川線の間地点に住んでいる。国道191号線と488号線を結ぶ道路であるため、利便性は高く、美都から匹見に向けての通勤者が多い。          しかし、落石が多く、自身もこの7年間で落石のため3回タイヤがパンクした。          また、道路の幅が狭く、すれ違うことが出来ない。部分的で良いので退避場所を作って欲しい。通勤時間帯は、遠慮してその道を通らないようにしている。</p> <p>⑥ 澄川小学校跡地利用について。          自らもUターン。「匹見下ふるさとおこす会」から市に対した要望書の提案の実現が難しいということだが、跡地利用が振り出しに戻るようなことはやめて頂きたい。</p> <p>⑦ 澄川小学校跡地利用について。          跡地利用の案については、自分自身は状況をよく聞いていない。          住民からは、「跡地を整備しても使用者は少ない」、「公民館は今あるので十分」、「様々な利用方法がある」等の声を聞いている。</p> <p>⑧ 長沢トンネルの残土について。          残土が置いてある土地を有効に利用して欲しい。例えば、通常は道の駅、非常時はヘリポートとして利用する方法はいかがか。          道の駅もいきなり大規模な施設は必要ない。小さい産直市程度から始める方法もある。</p>	<p>⑤ 県に対して、現状をしっかりと伝えていく。</p> <p>⑥ 要望書案では、利用者が限られておりそのために公費を使うことは難しい。また指定管理にした場合には毎年管理費が必要であるし、要望書案では難しいので再考を願いたい。こちらからも提案していく。</p> <p>⑦ 幸い澄川小学校の校舎は耐震化基準を満たしているので、耐震化対策は必要ない。引き続き、お互いに活用方法を検討していきたい。</p> <p>⑧ 残土については、ヒ素が含まれているが、その処理の目途がついていない。          道の駅については、設置経費をカバーできるだけの施設ができるかの検討が必要。提案のように小さい施設から始めることも視野に入れて検討する。</p>

要 望 事 項 等	回 答
<p>⑨ 国道488号線について。 国道488号線白岩町付近に「国道488号線通行止め 匹見峡温泉先」の電光表示板がある。匹見の印象が悪くなるので表示をやめて頂きたいか、道路の改良をして欲しい。</p> <p>⑩ 益田市の財政状況について。 現在の益田市の財政状況はどうか。</p> <p>⑪ 広益道(広島・益田間道路)について。 広益道(広島・益田間道路)を検討されたことはないか。</p>	<p>⑨ [匹見総合支所村上課長] 電光表示の内容については、以前県土整備事務所に依頼し、一旦はその表示がされていなかった。しかし、それでは通行止めの状況がわからないので再び表示されている。しかし、そのことによって、匹見への訪問者が減ったということはない。 [匹見総合支所靱田課長] 国道488号線は匹見峡温泉の先で土砂崩れがあって2年前通行止めになった。その後、土砂を取り除いた後道路の状況を調査した所、危険箇所が多ることから未だに復旧していない。 国道が3年以上も通行止めになると支障が大きいので、県に早期要望をしていく。なお、東方面から匹見までのルートカーナビで検索すると、最短距離である国道488号線を通るルートを示す。</p> <p>⑩ 平成24年度の単年度収支は黒字であったが、益田市の財政の最大の課題は、積立金が少ないことである。特に、財政調整基金が9億円程度しかない。益田市の財政規模なら、20億円から30億円程度はあるべきと考えている。</p> <p>⑪ 益田市から広島市までの間を結ぶ道路としては、191号線か488号線があるが、191号線についてはトンネルを開設した方が良いと思われる所が3箇所あり、それが実現すればより時間短縮が可能である。 国道の整備の検討にあたって、国は建設費が焦点になる。隣接の安芸太田町からは191号線の整備についての話を伺っており、そのことについては連携して推進していきたい。</p>